

GoodSmile

グッドスマイル

ひがしんコミュニティ

2013
vol.14

あたたかく一人へ・街へ

Contents

GoodSmile vol. 14

Report [レポート]

「スモールメイカーズショー in すみた」にて
6都市しんきん理事長サミット開催される

Community [コミュニティ]

商店街紹介 vol.12

香取大門通り会

(亀戸香取・勝運商店街)

亀戸梅屋敷

スカイダック

Company [カンパニー]

有限会社シン・ネットワーク

紗蔵 -sakura-

 **ひがしん**
東京東信用金庫



『スモールメイカーズショー in すみだ』にて 6都市しんきん理事長サミット 開催される

展示ブース数
160ブース
来場者数
のべ**20000名**



6都市しんきん理事長サミット

8月8日・9日の両日、墨田区両国の第一ホテル両国で『第9回 中小企業都市サミット※』が開催されました。今回は、これと並行して両国国技館で行われた、中小企業者企画の『スモールメイカーズショー』（実行委員長・浜野慶一 浜野製作所社長）をレポートします。

※通称『6都市サミット』。参加都市（大阪府東大阪市、兵庫県尼崎市、長野県岡谷市、埼玉県川口市、東京都大田区、墨田区）の首長および商工会議所会頭が出席し、中小企業の活性化や地域産業の課題解決などを討議。

スモールメイカーズショーの会場内には160の展示ブースが設けられ、全国の中小企業者が出展しプロモーションなどを行いました。このうちの約50ブースが、スモールメイカーズショーのイベント『6都市しんきん理事長サミット』に参加した6つの信用金庫（尼崎・大田東・川口・さわやか・諏訪・東京東）の取引先企業です。

この『6都市しんきん理事長サミット』は、浜野実行委員長がファシリテーターとなり、尼崎・東大阪・岡谷・川口・大田・墨田の各信用金庫の理事長が『ものづくり6都市』の中でどのように地域と関わっているのかを説明するものです。『ものづくり6都市』の中小・小規模企業を土台から支えている各地の信用金庫の地域活動や、信用金庫の使命などについて、各信用金庫のトップである理事長から生の声を聞けるといふことから、大きな意味を持つイベントとなりました。尼崎の橋本理事長からは「職員は自分の勤務地にも

住民票を持っている」との信念で「あまちゃん・しんちゃんプロジェクト」について、大田ひがしの梶田理事長からは海外展開を見据えた活動や屋内水耕栽培工場の取り組みについて、川口の日下理事長、さわやかの堀口理事長、諏訪の花岡理事長からは地域との深い関わりあい活動について熱く説明していただきました。最後に東京ひがしの澁谷理事長から、当金庫の産学官連携活動や顧客の組織化などについて発表があり、多くの来場者が興味深く聞き入っていました。

さらには、産学官連携でメディアからも注目されている、深海探査ロボット「江戸っ子1号」（墨田区ほか）、下町ボブスレー（大田区）、なども展示され、関係者にはさまざまな質問がなげかけられていました。

160のブース展示や物販ブースも活況で、初日ですべての商品を売りつくしてしまった生花店もありました。

イベントでは、墨田区がニット産業の聖地でもあることから、初日に繊維衣料企業中心のファッションショーが行われスモールメイカーズショーに花を添えました。2日目は「全日本製造業コマ大戦本場所」が場内を沸かし、実況中継をする中継アナと解説者の掛け合い、対戦者と行司との切羽詰まったやり取りなど、お笑い続出の取り組みとなりました。そのほかにも《スミファ（すみだファクトリー）工場見学ツアー》など盛りだくさんの企画があり、6都市の交流がいかなく発揮されました。



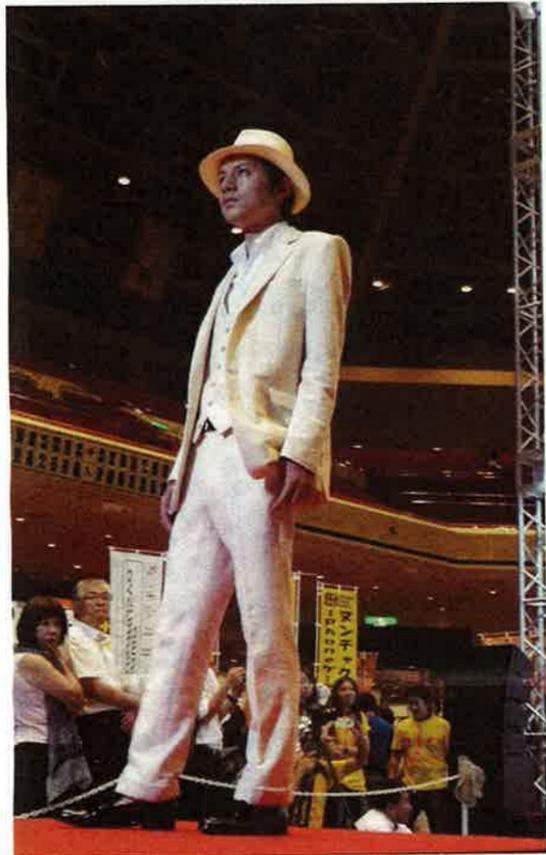
展示会場の様子



電気自動車 HOKUSAI I、II、III



下町ボブスレー



ファッションショー
All Japan Collection 2013



ひがしんがフットサルチーム フウガすみだのサポーターに

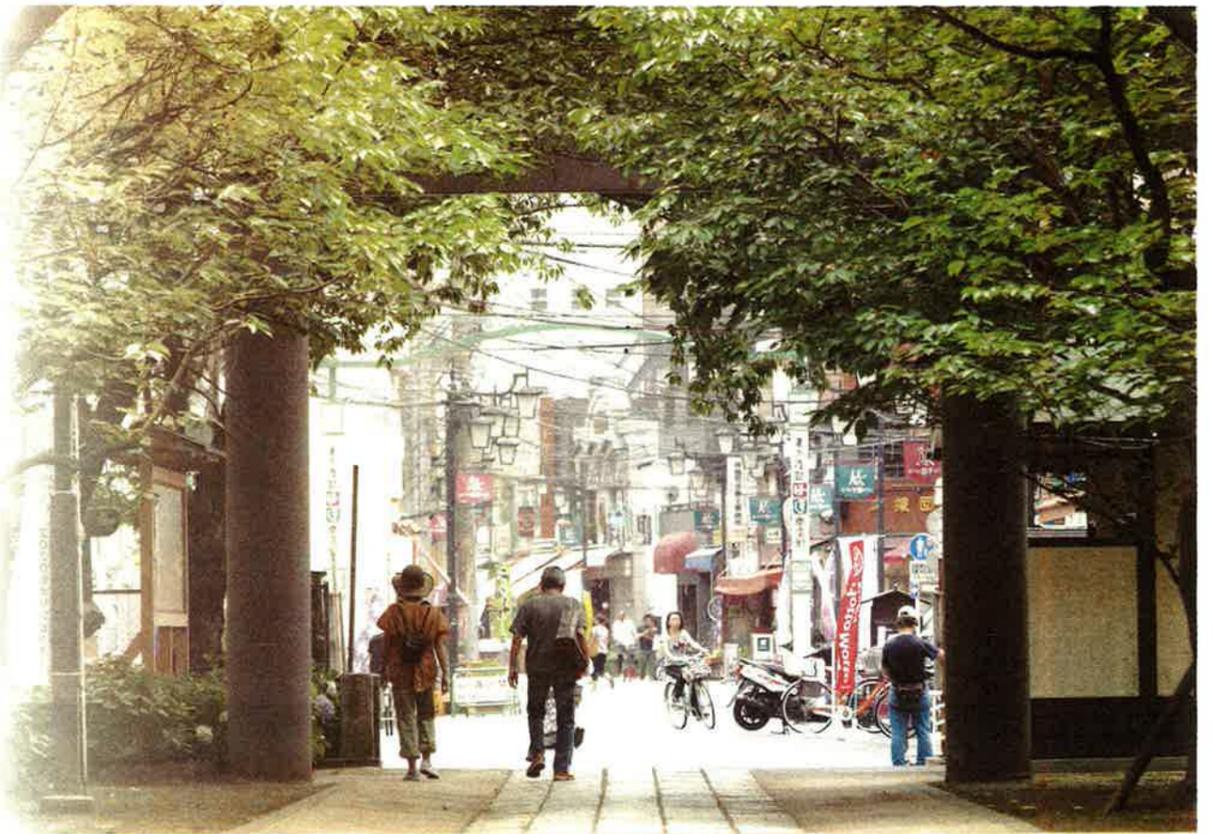


東京墨田区をホームタウンとするフットサルチーム《フウガすみだ》とユニホームスポンサー契約を取り交わしました。地域密着を重視している日本サッカー協会関東フットサルリーグ1部所属でFリーグ準会員クラブです。'07年から'12年の6年間に関東フットサルリーグ優勝5回、地域チャンピオンズリーグ優勝4回、全日本フットサル選手権優勝1回という輝かしい戦績があるチームです。来年'14年度

には、F1リーグ昇格の内定も獲得しています。今年からひがしんは《フウガすみだ》の'13年シーズンユニホームメインスポンサーとなり、今シーズン最高の結果を出せるよう、選手とともに戦い徹底的にサポートしてまいります。フットサルというスポーツを通じて地域との連帯を強め、さらに子どもたちには夢を与えられるよう《フウガすみだ》と東京東信用金庫は協力してリーグ戦に臨みます。

感じさせる商店街

通り会 (運商店街)



7世紀後半に創設された区内最古の神社・香取神社の参道に位置し、全長200メートルに約30店舗が軒を連ねるコンパクトな商店街です。大正期から昭和期にかけて見られた「看板建築」を採用し、レトロな景観を再現。タイムスリップしたかのような風情を味わえる商店街として、新たな魅力を発信しています。

参道には必須のお休み処として
江戸まち茶屋

水にこだわった日本茶をぜひご賞味ください!!

小野寺加江子

《電話》03-6802-9595
《営業時間》日・月/11:00~18:00 火~土/11:00~21:00
《定休日》無休

NPO 法人江戸まち通信が運営。昼は甘味処、夜は居酒屋として、商店街から仕入れた旨いものを提供しています。築地の仲卸・布袋寅から入荷した新鮮な刺身とお酒1杯が付いた夜のスターターセットは超お得。約50年前の吹きガラスや古民家の梁を移築した風情ある店内で憩いのひと時をどうぞ。

江戸まち茶屋

勝ちを呼ぶ水 **勝矢水**

かちやすい

¥150 500ml

香取神社の勝守の願いが込められたナチュラルミネラルウォーター。カラダに浸透しやすくスポーツに最適なお水です。香取大門通りにて好評発売中! [NPO 法人江戸まち通信]にて通信販売も行っています。
【アドレス】<http://www.edomachi.jp/>



香取大門通りは、江東区でいちばん古い歴史をもつ商店街です。明治時代から発展してきたのですが、高度経済成長期の頃は、近隣だけでなく周辺地域からも多くの買い物客が来てくださり、自転車で通行するのが難しほどの賑わいだったんですよ。

各商店の魅力味わう
昭和レトロな町散歩を



香取大門通り会 かつとし 豊永勝稔 会長

新鮮食材の元気メニューが大人気
呑飲 non-no

工房つり人の隠れ家

宮永元気さん

レバー竜田揚げを米粉パンで挟んだし、バーガーも好評!

《電話》03-3682-5290
《営業時間》10:00~22:00
《定休日》第1、第3水曜日

毎朝、直送される新鮮なレバーを使った「新鮮・朝メ勝運レバー炒め」が人気。定食なら700円、テイクアウトのレバー竜田揚げは200円とリーズナブルなのもうれしい! 青森物産ショップ「むつ下北」とタイアップし、漁協直送の魚介類や青森産ワインなども取り揃えているのでぜひご賞味ください。

西洋六角毛鉤釣竹竿を製作
工房つり人の隠れ家

自然観察やフィールドアドバイザーもやっています!

東京バンブー 鈴木岳人さん

《電話》03-5858-8709
《営業時間》10:00~22:00
《定休日》不定休

「呑飲 non-no」の店内奥に工房を構える「つり人の隠れ家」は、フライフィッシング用釣具を完全オーダー制で企画・制作・販売。ハンドメイドの温もり溢れる釣具は、愛好者の垂涎の的となっており、全国から注文が舞い込んでいます。また亀戸香取神社謹製「尺上御守」も好評頒布中です。

その後紆余曲折を経て、平成22年3月、「亀戸香取・勝運商店街」として新たなスタートを切りました。「昭和30年代」がキーワードの観光レトロ商店街ヘリニューアルしたのです。昔からの商店会メンバーに、社団法人北のまちふるさとプロジェクトやNPO法人江戸まち通信といった新しい仲間も加わりました。香取神社の行事と連携した企画や、クラシックカー展示、大道芸など、さまざまな催しも行っています。さらに電線の地中化、フットライトの設置なども検討しているところですよ。JR亀戸駅を北へ400メートルほどの便利な場所にありますので、ぜひ、お子さんからお年寄りまで、当商店街の「昭和のおもてなし」を楽しんでいただきたいですね。



《福亀館》は、亀戸の名店の品々を購入できる観光名所案内所。江戸切子や巨大浮世絵を楽しみながらくつろげるギャラリ、伝統芸能上演・カルチャー講座などに利用される多目的ホールもあります。もちろん庭園には紅白の梅が。水陸両用バス「スカイダック」の停留所にもなっています。わけあり市など各種イベントも開催していますので、ぜひご来場くださいませ。

【交通機関】 JR総武線「亀戸」駅・東武鉄道「亀戸」駅北口より明治通りを北へ徒歩7分。都バス里22、早24、上26、門33、南千48系統「亀戸四丁目」下車、徒歩1分

【所在地】 江東区亀戸4丁目18-8

ニューシンボル誕生 亀戸梅屋敷

梅の名所として江戸っ子たちを魅了した、呉服商・伊勢屋彦右衛門の別荘「清香庵」(別名・亀戸梅屋敷)。その賑わいを今に紡ぎ、江戸・下町・亀戸の粋な歴史と文化を世界に発信する拠点として、今年3月にオープンしました。「感動と安らぎの提供」をコンセプトに、単なる公民館や物産館ではない、地方と亀戸、世界と亀戸を結ぶメディアとしての役割を果たすべく、さまざまな趣向を凝らし、ご来場者をお迎えしています。



諸橋宏館長

【営業時間】 10:00~18:00
【定休日】 月曜日(祝日の場合は翌日)
【電話番号】 03-3681-2685
【アドレス】 <http://www.kameume.com>

商店街紹介 VOL.12



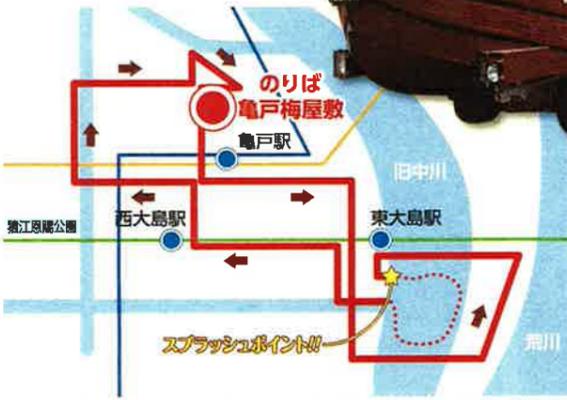
香取大門

(亀戸香取・勝)

亀戸梅屋敷から乗る!!

スカイダック

東京都初の水陸両用バス「スカイダック」亀戸コースは1日5便。亀戸梅屋敷〜東大島「旧中川・川の駅」(水上運行・トイレ休憩)〜亀戸梅屋敷を約70分で巡ります。旧中川では「3・2・1」の掛け声とともに水の中へ。東京・下町を楽しむ新しいアトラクションとして多くの人気を集めています。



【乗り場・チケット販売所】 亀戸梅屋敷
 【予約・お問合せ】 スカイバスコールセンター 03-3215-0008
 受付時間 9:30 ~ 18:00 ※ご乗車1ヶ月前より予約受付
 【企画・実施】 日の丸自動車興業株式会社・ヒノマルトラベルサービス
 【アドレス】 <http://www.skybus.jp>

香取神社



勝負・開運厄除・足腰健康の神様
 665年、藤原鎌足公がこの地で香取大神を勧請したのを由縁に創立。平将門の乱を鎮めた依藤大秀郷が奉納した弓矢が「勝矢」と命名され、この故事により現在も「勝矢祭」が催されています。歴代天皇、武將、武道家たちの厚い崇敬を受け、今ではオリンピックや国際大会に出場する一流スポーツ選手からも信奉される「スポーツ振興の神」として、多くの参拝者が訪れています。

「勝守」 ¥500 (税込)

和・洋の可愛い雑貨と駄菓子のお店 かめいどアリス

店名は「不思議の国のアリス」をイメージしました!

谷田部良子

〈電話〉 03-3682-5500
 〈営業時間〉 月/13:00 ~ 18:00 水~日/11:00 ~ 18:00
 〈定休日〉 火曜日

店内には可愛い小物から10円の駄菓子まで、所狭しと並べられており、宝探しのような楽しさ。特にオーナーこだわりのウサギグッズが豊富です。毎月1日、15日、17日はサービスデー。雑貨類は消費税をサービス、駄菓子は100円につきアメを1個おまけしています。この機会をお見逃しなく!

香取神社



口に広がるおふくろの味にほっこり マルセイ (惣菜)

青果店もあるので、両方のそいでみてくださいね。

土屋カヨ子さん

〈電話〉 03-3682-5404
 〈営業時間〉 10:00 ~ 19:00
 〈定休日〉 不定休

地域の人々に愛されるお惣菜店。天ぷらや煮物、漬物などはすべて女将さんの手作り。保存料は一切使わない昔ながらの味わいが楽しめます。何の惣菜が並ぶかは、その日のマルセイ青果店の野菜次第。人気の煮豆 (月・火) は、親子2代のファンもいるのだとか。夏は梅漬けがおススメです。

発酵料理とお酒で楽しいひとときを 発酵文化応援団

商店街の商品を使った料理もご提供しています。

高運川寛さん

〈電話〉 03-3684-1585
 〈営業時間〉 平日/18:00頃 ~ 23:00 土日祝/13:00頃 ~ 23:00
 〈定休日〉 不定休

「人と人が出逢って良いことが生まれる=発酵」をコンセプトに、2010年オープン。酒と食を通じて日本の発酵文化を堪能できる居酒屋です。塩麹やみそなどの発酵食品を使った料理や約20種のこだわりの日本酒を提供しています。亀戸大根や千住ねぎ等江戸東京野菜を使ったメニューも人気です。

季節の野菜・果物・山菜が店頭 坂本商店

季節限定の手作り漬物、つくだ煮などもお楽しみに!

坂本友治さん、初江さん

〈電話〉 03-3681-6886
 〈営業時間〉 9:00 ~ 19:00
 〈定休日〉 日曜日

戦後間もなくからこの地で青果店を営む坂本商店は、新鮮な野菜や果物はもちろん、珍しい旬の山菜を提供しているのも特色。都会にいなから山の幸が手に入るとあって、楽しみにしているお客さんも多いそうです。またタクアン、梅干し、山菜の佃煮といった手作りの品々は固定ファンもいるほどです。

味噌のラベルは名物女将・美代子さんの似顔絵です!

お好みに合わせたブレンドも みその丸定

豊永勝彦さん、美代子さん

〈電話〉 03-3682-5437
 〈営業時間〉 9:00 ~ 19:00
 〈定休日〉 第2、第4日曜日

今では関東でも数少ない味噌の専門店。昭和30年創業の老舗です。厳選して全国から取り寄せた約30種類が店頭並びます。人気は丸定のオリジナルブレンド味噌。サバの味噌煮やぬたなど、味噌を使った料理の相談もできるので、お気軽に。地方発送もOK。贈答用としても喜ばれています。



シン・ネットワーク

葛飾・柴又から世界へ躍進。 熱中症グッズでトツプを走る

アブダビに設立した海外拠点やベトナムの自社工場の本格稼働により、世界約20ヶ国へ商品を輸出。世界特許取得技術を活用した数多くの熱中症対策アイテムで、国内外から注目を集める成長企業です。新発売の『熱中症応急キット』は、ドイツでも発売予定。温暖化が進む今、シン・ネットワークが発信する熱中症対策グッズ愛用者は、世界中に広がりつつあります。

熱中症対策グッズに特化した日本のトップランナー企業

シン・ネットワークの創業は1998年。熱中症対策用品の分野では日本の先駆者の企業であり、高度な技術とユニークなアイデアで、数々の商品を世に送り出しています。

代表取締役の中島信一郎さんは、葛飾・柴又に根づいた地侍の末裔で、ご本人は36代目に当たるのだとか。高校卒業後、郵便局勤務、ドイツのスポーツ用品ブランド日本総代理店での企画営業を経て、独立しました。

同社設立当時は、まだ熱中症が日射病と言われていた頃。「たまたま2人の方が日射病で救急搬送された現場を目撃したのです。仕事を通して人の命を救うことができればと考えていた私にとって、とても衝撃的な出来事でした」と中島さんは振り返ります。

ほぼ同時期に、気化熱を活用した冷却構造の特許を持つ技術者との出会いもあり、熱中症対策にターゲットを絞った事業を決意。現在は、『クールビット』シリーズをブランド化し、取り外し可能な首筋を冷やすフラップ付キャップ、ハット、ヘッドギア、サンバイザー、ネッククーラー、インナーなどを幅広く展開し、なかでもフラップ付キャップ、ハットの分野ではトップランナーであり続けています。

数々の世界特許を取得 グローバル展開も推進

同社の商品の最大の特徴は、大半が世界特許取得、あるいは申請済の商品であること。



順天堂大学スポーツ医学家庭研究室との共同研究で、医学的な検証を行い商品開発を行っています。ゴルフやテニス、野球、フィッシング、ラグビーなどのスポーツシーンや、建設現場をはじめとする屋内外での作業従事者にも、同社の製品は数多く使用されています。2008年には海外拠点としてアブダビ（アラブ首長国連邦）に法人を設立し、ベトナムの自社工場で生産した製品を、中東、アフリカ、ヨーロッパなど約20ヶ国へ輸出。「特に近年開発が進む中東、アフリカでは、建設現場作業員の健康対策のため、当社商品の需要が高まっているんですよ」

また今年6月には、開発に2年をかけた『熱中症応急キット』を新発売。他社が販売している類似商品と大きく異なるのは、既存グッズの詰め合わせではなく、すべてオリジナルで設計開発された熱中症対策グッズを1つのパッケージにして商品化した点です。

「熱中症応急キット」を新発売 AED並みの普及をめざす

実際に、今年1月、同社がドイツとイタリアで開催した熱中症対策セミナーには、トータルで20ヶ国以上約70社が参加し、現地新聞の社会面トツプで紹介されるほどの盛況振りました。

そのコンセプトと内容が評価され、早くも東京ドーム、ユニバーサルスタジオ、一部の私立小中高校・大学などが採用。Jリーグチーム、鉄道各社でも導入の検討が進められているそうです。

「朝、元気に出勤して行った家族の誰かが熱中症で命を落とす。そんな悲劇を少しでも無くしたい。その役に立てるような仕事をしたい」という中島さんの強い思い。シン・ネットワークは、これからも、温暖化時代を生きる私たちの命を守る商品を、発信し続けることでしょう。

「クールビット」シリーズのキャップとインナーインナーはメジャーリーガーのキャンプ用に配布されたり、屋外作業従事者の熱中症予防に広く活用されている。



ヘッドウェア（創業初期の商品）ヘルメットの下に装着するタイプ。山本寛斎氏がイベントで使用されたもの。とても気に入られたそうで、自筆のサインを入れ、わざわざ送り届けてくださった。



熱中症応急キット
順天堂大学スポーツ医学家庭研究室監修。「いかに短時間」で的確に応急処置ができるかを考え抜いた内容となっている。

有限会社シン・ネットワーク

創業 | 1998年1月(平成10年)
事業 | 熱中症対策用ヘッドウェア・インナー・雑貨、熱中症応急キット等の企画卸売・輸入販売
住所 | 〒125-0052
東京都葛飾区柴又5-10-1 コスモ柴又1F
TEL | 03-3673-7005
HP | www.shinnetwork.com



高級皮革加工の匠である
父の技術をモダンな商品に

和久真弓さんが生まれ育った墨田区に、レザーグッズブランド『紗蔵』を設立したのは2008年2月のこと。デザインスクールを卒業後、日本製のバッグを扱う台東区浅草橋の老舗問屋、港区南青山のイタリアブランドバッグ問屋で、デザイン企画やテレビドラマへの商品提供、雑誌企画商品開発などを経験する中で、あらためて職人技が冴えわたるメイド・イン・ジャパンの素晴らしさを実感。「日本のものづくりを応援していきたい」と強く思ったのがきっかけでした。

その背景には、父・鈴木利春さんの存在がありました。鈴木さんは墨田区で50年にわたり、クロコダイルやリザードなどの高級革製品の製造に携わってきた皮革加工の匠。2010年3月に、すみだマイスターにも認定された凄腕職人です。

和久さんのセンスと鈴木さんの技術を生かし、一点一点丁寧に仕上げた高級バッグやベルト、ステーションナリー、インテリアグッズは、手に取った人間に、上質な革製品を持つ喜びを与えてくれます。

墨田の地場産業にこだわり
海外を視野に入れた商品展開

また墨田区産のエコレザーを用いた手ごろな価格帯の革小物も数多く取り揃えています。「子どもが舐めても大丈夫なように安全性を徹



底的に追求した革素材ですし、私たちが食する豚肉の革を有効活用するという意味でもエコな商品なんです」と和久さん。

なかでも「北斎シリーズ」は、そのエコレザー商品の代表格ともいえ、葛飾北斎の浮世絵をモチーフにしたブックカバー、カードケース、ペンケースなどは、成田空港の免税店や上海のセレクトショップ、国内のミュージアムショップでも販売されているほどの人気です。

商品は、和久さん自身がデザインした作品、有名プロダクトデザイナーとのコラボレーションによるものなどさまざまですが、「商品の生産やパッケージづくりは、可能な限り、墨田区内の工場に発注します」というほど、墨田のものづくりにこだわるのが和久さん流。その一方で、京都の老舗企業と手を組み、和柄をヨーロッパテイストにアレンジしたバッグや財布を提案するなど、海外展開にも積極的です。

幅広い世代が物作り体験できる
「ミニユニティ」の場をめぐって

夏休みには、キッズニアとの提携で、子どもたちに豚革を使ったペンケース作り体験イベントも実施。修学旅行生の物作り体験や小中学校の職業体験などの受け入れを検討しています。「今後は、お年寄りがデイサービスに行く代わりに、オリジナルの革製品作りを楽しみつつ、作品の販売もできるようなミニユニティの場を作っていきたい。どのような形がよいのか、現在試行錯誤中」とのこと。

さらにもものづくりの現場から暮らしを提案する「すみだ東京ものづくり計画」の代表も務める和久さん。幅広い活動のエネルギーの源は、いったいどこにあるのでしょうか。そう尋ねると「こんな物が作れたら、こんな人たちに知ってもらえたら...そんなことを考えたり、いろんな方々に会うのが大好きなんです。結局は自分が楽しいことをやっているだけなんですよね」と、素敵な笑顔で答えてくれました。

紗蔵

匠の技と素材へのこだわりをもつ
レザーグッズブランド

「大切に包む」という意味をもつ『紗』と「蔵出し」をイメージした『蔵』で『紗蔵』。職人の卓越した技術をもものづくりへの熱い心で包み込んだ商品。そうした品々をまさに蔵出しするように世に送り出したい——このブランド名には、代表である和久真弓さんの思いが込められています。高級皮革製品から手ごろな革小物まで、オリジナリティー溢れるラインナップが『紗蔵』の魅力です。



北斎シリーズ
東京スカイツリー・ソラマチ5階にある「すみだ まち処」でも人気の商品。美しいプリントで海外の方々からの反響も多い。



ミニトートバッグ
通販用に企画・デザインしたエコレザーバッグ。



ペンケース作り体験
子どもたちが好きな2色の豚革を選び、オリジナルのペンケースを作るイベントを開催。革製品の魅力を知ってもらうきっかけに。

紗蔵 -sakura-

創業 | 2008年2月(平成20年)
事業 | 革製品の企画・デザイン・製造・販売
住所 | 〒130-0002
東京都墨田区業平 1-7-12
TEL | 03-3625-6907
HP | www.leather-handmade.com

.....ひがしのさまざまなニュースやお得な情報を、いち早くご紹介します。.....

東南アジアへの海外展開を目指す取引先中小企業 **バンコクでの駐在員デスク設置に向けて**

のための拠点として、タイのバンコクに駐在員デスクを設置すべく4月6日、バンコク首都圏スクインビット地区にある泰日経済技術振興協会 (TPA) 本部で検討会議が開かれました。会議には TPA のスチャリット専務理事、泰日工業大学 (TNI) バンディット副学長、日タイ経済協力協会 (JTECS) 山本タイ代表が、日本側から東京東信用金庫澁谷理事長をはじめ《ひがしん東南アジア視察団》で渡タイ中の(株)モルフォ石川団長と荻野工業(株)荻野副団長、東京東信用金庫石毛執行役員が出席しました。席上、スチャリット専務理事から、タイ国内の事業所と日本の中小企業のマッチング、ならびにタイの大学生のものづくり教育の支援、取引先中小企業の東南アジア展開など、ひがしんの目指す産学連携を軸

とした駐在員デスクの考え方に強い賛同の意思表示がありました。また、澁谷理事長からも産学連携を国際的に発展させた独自の取り組みであり海外駐在員デスクの開設実現に向け努力していく旨の説明がなされました。本来は芝浦工業大学との提携校である泰日工業大学に駐在員デスクを置く予定でしたが、タイ側から活動の拠点を泰日工業大学に置くよりも情報収集能力や交通の便などさまざまな点を考慮してバンコク中心部の TPA に置いたほうがベターであるとの提案があり、その方向で検討に入ることとなりました。職員の派遣についてはビザや労働許可証、駐在員の処遇など数多くのハードルがありますが、TPA に職員を outward させ、今年 10 月にデスクを開設する予定です。



バンコク市内にある泰日経済技術振興協会 (TPA) 本部

“江戸っ子1号プロジェクト” 安倍総理も強い関心を示す



東京農が関で6月30日《中小企業・小規模事業者政策緊急フォーラム》が開催されました。全国各地から10団体がフォーラム会場前に出展しPR活動を行いました。“江戸っ子1号プロジェクト”も中小企業連携のモデルケースとして中小企業庁からの推薦で出展する機会を得ました。政策緊急フォーラムには、中小企業者など500名が参加して、活発なパネルディスカッションなどが行われ、安倍晋三内閣総理大臣も出席されま

した。フォーラムの合間をぬって甘利明内閣府特命大臣(経済財政政策)ら議員とともに安倍総理も出展会場を訪れました。総理は各ブースを回り熱心に説明に聞き入っていました。“江戸っ子1号プロジェクト”のブースにも来られ、メンバーから日本の海洋開発への可能性に江戸っ子1号が大きな役割を果たす旨、説明を受けられました。甘利大臣が経済産業大臣の時に肝いりで策定した「地域力連携拠点事業」が江戸っ子1号の出発点であった話を聞くと甘利大臣自身「感慨無量です」と話されていました。

関東財務局 平成24年度地域密着型金融に関する取組み



写真左・関東財務局原田理財部長

当金庫が 顕彰を受賞

関東財務局から「平成24年度地域密着型金融に関する取組みへの顕彰式」が4月9日、東京東信用金庫両国本部で行われ、財務省関東財務局の原田要暢理財部長から澁谷理事長に「地域密着型金融顕彰状」が授与されました。当金庫が受賞した理由は「組織として産学官連携を継続的に推進しており、多様な機関との連携やプロジェクトのコーディネートなどに積極的に取組んでいる」ことを高く評価されたからです。平成17年10月に国立大学と信用金庫では全国初となる東京海洋大学との産学連携協定の締結以来、芝浦工業大学や千葉商科大学との連携も順次締結し、中小企業の課題を大学に繋ぐ取組みを積極的に進めてきまし

た。また、地域との連携では、墨田区など自治体と地域企業そして大学との産学官連携の組織化に積極的な役割を演じました。具体事例としてマスコミでも報道され注目を集めている商業深海探査機《江戸っ子1号》の事務局を担うとともに、次世代小型自動車の開発プロジェクトでは電気自動車《HOKUSAI》の開発に参加し東京下町の町工場と大学や研究開発機関などに橋渡しを行い高く実績を評価されました。平成24年度は関東財務局管内で当金庫のほか横浜銀行と信州再生支援ネットワーク会議の33の機関が受賞しました。都内金融機関は当金庫のみの受賞で大変名誉あることです。

編集後記

今年の夏は猛暑を通り越して、「極みの暑さ」「極暑」だとメディアが紹介していました。この極暑のなか両国国技館では「第9回中小企業都市サミット」(参加都市：尼崎市・東大阪市・岡谷市・川口市・大田区・墨田区)と並行して6都市の中小企業を中心とした「スモールメイカーズショー」が開かれました。コマ大戦やファッションショー、パネルディスカッションなどさまざまなイベントや展示・物販で、熱い中小企業者の意気込みを披露しました。企画・運営とも中小企業者の方々のボランティアでした。このショーではメディアからも注目が集まっている、下町ボブスレー(大田区)、まいどー号(東大阪市)、江戸っ子1号(墨田区ほか)なども展示されていました。深海探査ロボット《江戸っ子1号》は9月下旬に予定している房総沖250キロ付近の日本海溝での本実験に備え、この夏ふたたび、江の島沖での深度投下実験を行い、海底で鮮明な動画撮影にも成功しました。日本海溝での実験は海洋研究開発機構(JAMSTEC)の全面協力を得て海洋調査船「かいよう」(3350総トン)に江戸っ子1号を3基搭載して行われます。当初の目的である最深度8000メートルでの深海撮影と泥粘採取ができるか、大きな期待がかかります。(I)



表紙のひと

江戸まち茶屋 店長 小野寺加江子さん